

大島・子ども体験塾 参加者・リーダー募集

あきる野市と共同で行う「大島・子ども体験塾」。三原山登山・海水浴・ふるさと体験などを通じ、協力することの大切さや喜びを楽しく学びます。

問合せ 子ども政策課内 261

参加者募集

対象
○市内在住・在学の小学校5・6年生および中学生で全ての活動および抽選会に参加できる方
○学校・地域などで青少年活動のリーダーとして活躍する意欲のある方

定員 28人(羽村市分・申込み多数の場合抽選)

費用 1万8000円

※保護者説明会で支払ってください(保護者説明会:6月19日(金))。 ※天候不良による欠航延泊費、保険適用外の費用が別途かかる場合があります。

申込み 5月15日(金)までに左の申込フォームまたは申込用紙を直接、市役所2階子ども政策課へ

※申込用紙は、市公式サイトからダウンロードすることができ、ダウンロードすることになります。



日時	活動内容
5月21日(木)	抽選会(本人参加必須)
6月28日(日)	事前学習・仲間づくり
7月12日(日)	事前活動
8月5日(水)～7日(金)	三原山登山、海水浴、ふるさと体験など
8月22日(土)	新聞づくり、活動報告

リーダー募集

自身の成長にもつながる貴重な体験があなたを待っています。経験は問いません。関心のある方はぜひ応募してください。

応募資格 市内在住・在勤・在学の心身共に健康で、ある程度泳ぐことができる高校生以上(おむね30歳代まで)の方

※全ての活動に参加できること ※報酬は出ません。

募集人数 4人(羽村市分・書類または面接による選考)

申込み 5月15日(金)まで(必着)に郵送または直接、市役所2階子ども政策課へ

※申込用紙は、子ども政策課、市内公共施設で配布するほか、市公式サイトからダウンロードすることができます。



日時	活動内容
6月7日(日)	指導者・リーダー会議
6月19日(金)	保護者説明会
6月28日(日)、7月12日(日)	事前活動
8月5日(水)～7日(金)	三原山登山、海水浴、ふるさと体験など
8月22日(土)	新聞づくり、活動報告

創業支援補助金

羽村市での創業を応援します!

対象 市内で新たに創業する方/創業後5年未満の方/第二創業を行う方

※フランチャイズ契約による創業は対象外

※市外在住の方も対象

※実績報告時までに、認定特定創業支援事業を受ける必要があります。

※詳しくは、市公式サイトを確認するか問い合わせください。

助成対象経費 補助金交付決定後(7月中旬予定)～令和9年2月末に支払いを行う次の経費



- ①創業に必要な官公庁への書類作成などに係る経費
 - ②事業所等借入費(賃貸料・共益費・仲介手数料)
 - ③設備費(第二創業の場合、廃業に係る経費を含む)
 - ④マーケティング調査費
 - ⑤広報費
- 審査方法** 次のポイントから行う書類・面接審査
- 事業の実現性・独創性・収益性・継続性・羽村市らしさがあるか
- 採択件数** 2件程度(予定)
- 補助率** 対象経費(税抜)の3分の2、上限50万円(補助対象者またはその従業員等が市に移住・定住した場合は上限60万円)
- 申請・問合せ** 5月1日(金)～6月12日(金)に、必要書類を直接、市役所西庁舎2階産業振興課内 657へ
- ※必要書類は、市公式サイトからダウンロードすることができます。

★創業支援コーディネーターに事業計画書作成の相談ができます。詳しくは市公式サイトを確認してください。

創業者交流会～Connect from Hamura 2026～

リアルな体験を知り、一歩踏み出してアイデアを形に

羽村市創業支援補助金を活用した先輩創業者たちの「リアルな本音トーク」をたっぷり聞けるパネルディスカッション、「ビジネスアイデア・ブラッシュアップ」のグループワークや、支援機関の紹介を行います。

認定特定創業支援事業の対象です。

日時 5月24日(日)午前10時～正午 **会場** 産業福祉センターiホール

対象 創業に関心がある方、創業準備中、創業後間もない方 **定員** 20人(申込順)

申込み 5月21日(木)までに、右の申込フォームまたは電話で産業振興課商工観光係内657へ ▲申込フォーム



市指定保養施設 スイーツと緑のコンボで、最高の休日に!



㈱シャトレゼホールディングスが所有するホテル・ゴルフ場・レジャー施設を優待料金で利用することができます。ホテル・ゴルフ場を利用する場合は、さらに市が2,000円を負担(利用券を交付)します。

※施設によりサービスや料金が異なります。詳しくは、各施設にお問い合わせください。

対象 市内在住・在勤・在学の方

※申請が必要です。詳しくは、市公式サイトを確認してください。

※年度内に1人2回まで(ホテル、ゴルフ場合合わせ)。予算上限に達し次第終了。



問合せ 地域振興課地域振興係内 203

姉妹都市「北杜市」との交流活動に助成金を交付します

対象 北杜市と交流活動を行う市内で活動する団体等

助成率 対象経費の2分の1

助成上限額 10万円

※申請多数の場合は、予算の範囲内で助成額を調整することがあります。

◆これまでの交流事例

スポーツチームの交流(練習・試合)

羽村市・北杜市が主催するイベントへの出演

申込み・問合せ 事前に、電話またはEメールで、企画政策課内315へ

✉s101000@city.hamura.tokyo.jp



さまざまなことにチャレンジしているはむらのスゴい人を紹介!

まつもと 松本 千力工 さん



大阪出身、市内の音楽教室「SeedMusicSchool」でボイストレーニングやウクレレの指導を行うかたわら、シャンソン歌手としても活動。日本シャンソンコンクール2025でグランプリを受賞した。

命かなと思っています。大阪から上京し、ソウルのプロとして歌っていた松本さんの転機は、ボイストレーナーをやってみるといふ事務所の社長の一言。「人に言われると嫌と言えない性分だったこともあり、始めました」

その後羽村に移り、音楽教室を開きます。そこで地域の方からギターやウクレレを教えてほしいと言われ、これを快諾。すると次はシャンソンの先生をと。「歌はずっとソウル。やるならしっかりと実績を積みみたい」と考えていたところ、偶然日本シャンソンコンクール2025の募集を見つけました。が、すでに締切の5日前。「でも見た瞬間に応募しよう」と急いで録音。そして見事本戦へ。42人中42番目の歌唱、一般的には不利と言われる順番の中、グランプリを勝ち取ります。審査員の加藤登紀

「16歳でソウルミュージックを始め、今シャンソンを歌っているのは偶然や周りの声に添えた結果、運命かなと思っています」

大阪から上京し、ソウルのプロとして歌っていた松本さんの転機は、ボイストレーナーをやってみるといふ事務所の社長の一言。「人に言われると嫌と言えない性分だったこともあり、始めました」

その後羽村に移り、音楽教室を開きます。そこで地域の方からギターやウクレレを教えてほしいと言われ、これを快諾。すると次はシャンソンの先生をと。「歌はずっとソウル。やるならしっかりと実績を積みみたい」と考えていたところ、偶然日本シャンソンコンクール2025の募集を見つけました。が、すでに締切の5日前。「でも見た瞬間に応募しよう」と急いで録音。そして見事本戦へ。42人中42番目の歌唱、一般的には不利と言われる順番の中、グランプリを勝ち取ります。審査員の加藤登紀

子さんから「小さな声も力強い声と同様にしっかりと届いた、感動した」と評されました。

「これにはソウルの経験が生きました。ソウルは生活や社会に対する叫びから生まれます。シャンソンは戦争や平和、愛を歌います。場所は違えど、どちらも人生の苦しみから出てくるものなんです」

「10代で歌を始め、20代以降は裏方。やっと一人の表現者として表に立つことができると感じています。シャンソンは人生の歌、重ねてきた経験によって味が出るからいくつになっても歌える。自分はまだ新人」

これからは日本語の訳詞にも挑戦したいという松本さん。偶然と周りの声に導かれ、これからもさまざまな歌声を重ねていくのでしょうか。

●直近の松本さんの出演
はむら100人ウクレレ5月31日(日)
プリモホールゆとろぎ

●シャンソンの祭典パリ祭
7月22日(水)・23日(木)
文京シビックホール